

営業職員をメインチャネルとする生命保険会社で初 全役職員15,000名超が認知症サポーターへ

朝日生命保険相互会社（社長：木村博紀）では、全社一丸となり認知症サポーター養成の取組みを推進したことにより、営業職員チャネルをメインチャネルとする生命保険会社では初めて（注1）15,566人の全役職員（注2）が認知症サポーターとして認定されました。

1. シニアのお客さまに対する取組み

当社は、今後ますます進展していく高齢化を見据え、「介護保険の普及は社会的使命」との認識のもと、介護を中心としたシニアのお客さま向けの商品・サービスを生命保険業界において先行し、提供してきました。

平成24年4月に、生命保険商品単体では初（注3）となるグッドデザイン賞を受賞した「あんしん介護（介護一時金保険、介護終身年金保険）」を、平成28年4月には、認知症に特化した「あんしん介護認知症保険（認知症介護一時金保険、認知症介護終身年金保険）」を発売し、世の中に先駆けて介護分野の商品開発に取り組んできました。また、介護に対するお客さまの不安を少しでも軽減するため、平成24年10月より「介護あんしんサポート」を展開し、介護や認知症に関する情報や電話相談等のサービス提供を行っています。

2. 認知症サポーターの養成

平成24年度より、厚生労働省が推進する「認知症サポーターキャラバン」事業に賛同し、全役職員の認知症サポーター養成に取り組んでいます。具体的には、新たに入社する職員を対象に本社・支社で実施する入社初期教育のカリキュラムにおいて、認知症サポーター養成講座の受講を必須としています。そのために、講師役である「認知症キャラバン・メイト」を社内で約230名育成して全国各支社に配置し、認知症サポーターを早期に養成する仕組みを確立しています。この結果、標記の通り、今般、全役職員15,000名超が認知症サポーターとして認定されることとなりました。

「認知症サポーターキャラバン」とは

認知症に関する正しい知識習得を通じて、認知症の人や家族をサポートし、地域社会の誰もが暮らしやすい社会づくりに貢献することを目的に、認知症サポーターを全国で養成する活動
認知症サポーターキャラバン ホームページ：<http://www.caravanmate.com/>

3. 取組みの成果

こうした取組みにより、平成29年2月4日に開催された「認知症サポーターキャラバン 平成28年度表彰・報告会」（主催：全国キャラバン・メイト連絡協議会）において、「認知症サポーター養成講座」の開催回数が最も多かった企業として表彰されました。

《当社の認知症サポーターがお役に立った事例》

当社宇都宮支社の佐藤貴子職員は、徘徊していた高齢の女性を保護のうえ警察へ無事送り届けたことにより、栃木県警の「思いやり110番」（危ない歩行者を見かけたら110番通報するよという県警の呼びかけ）に協力したとして、7月12日、宇都宮南警察署長より感謝状を授与されました。



感謝状を授与された佐藤貴子職員
（宇都宮南警察署前にて）

4. 今後の取組み

当社は、「認知症サポーターキャラバン パートナー企業・団体」（運営：全国キャラバン・メイト連絡協議会）に登録し、さらに連携を深めていきます。また、新たに入社する全役職員を対象とした認知症サポーター養成も継続して実施します。

認知症に関する正しい知識や対応方法を身につけることによって、地域に根ざした営業活動においても、認知症の早期発見や適切な手助けを積極的に実践し、誰もが安心して暮らせる社会づくりへ引き続き貢献していきます。

注1：生命保険協会加入企業について、当社調べ。

注2：平成29年3月31日現在で、休職者や出向者を除く、役員・内勤職員・営業職員・契約スタッフ・事務嘱託全員。

注3：公益財団法人日本デザイン振興会確認による。

以 上